

議会だより

第86号

令和7年
8月14日発行

郷ノ浦祇園山笠

7月27日(日)炎天下の中、盛大に開催されました

【主な内容】	一般質問(12人が登壇) ……	6
6月会議で決めたこと ……	市民の声 ……	13
令和7年度補正予算 ……	お知らせ ……	13
委員会レポート ……	議会だよりクイズ ……	14

議会の情報を発信中!

Facebook



6月会議で決めたこと



6月会議で決まった主な事業を紹介します。

◆吉岐市公営住宅等長寿命化計画(見直し)の策定について

平成30年6月に改訂した「吉岐市公営住宅等長寿命化計画」を今回公営住宅等のストックの現状を再整理し、社会経済情勢や住民ニーズ、財政状況等の変化を踏まえ、地域の特性や住宅事情に応じた総合的な活用方針を再検討し、長寿命化を推進するための維持管理計画の見直しを行った。

○令和7年3月現在、吉岐市が管理している公営住宅等の数

公営住宅：104棟（722戸） 特定公共賃貸住宅：2棟（14戸） 単独住宅：9棟（32戸）
合計115棟（768戸）

そのうち、既に耐用年限を超過している住宅が256戸、さらに10年後に新たに超過する住宅が14戸

計画の期間：令和7年度から令和16年度までの10年間

なお、計画内容は社会情勢の変化、国や県の住宅政策の動向、各事業の進捗状況等に応じ、概ね5年後ごとに見直しを行う。

◆消防ポンプ自動車(3.5t未満)購入契約の締結について

契約の方法：制限付き一般競争入札

契約の金額：2,237万9,670円

契約の相手方：株式会社ヤナセファイテック 代表取締役 合家 崇氏

◆吉岐市教育委員会委員の任命について

現委員の退任に伴い、坂本 栄子 氏の任命に同意した。

◆吉岐市監査委員の選任について

現委員の任期満了に伴い、殿川 穂 氏の再任に同意した。

審議結果はP4の「議案と審議結果一覧表」に示しています。

令和7年度 補正予算

一般会計の6月補正予算額計

1億5,650万9千円

一般会計補正後の予算額合計

253億7,650万9千円

○令和7年度各会計予算一覧

(単位：千円)

会 計 名		現計予算額	6月補正予算額	補正後予算額合計
一 般 会 計		25,220,000	156,509	25,376,509
特別会計	国民健康保険	3,351,330		3,351,330
	後期高齢者医療	441,304		441,304
	介護保険	3,862,562		3,862,562
	三島航路	142,785		142,785
	農業機械銀行	163,387		163,387
	合 計	7,961,368		7,961,368
一般会計・特別会計の合計		33,181,368	156,509	33,337,877

どんな予算のあと？



二地域居住先導的プロジェクト実装事業（地域共創課）1,800万円 **新規**

二地域居住の促進により、関係人口・定住人口の増加を図り、第4次壱岐市総合計画に掲げる「2050年人口2万人」の実現を図る。

先進事例の視察研修等を行い、次年度以降の壱岐市での先導的事業の効果的な実施につなげるとともに、壱岐市内の主要団体等で構成する「壱岐市二地域居住促進協議会（仮）」（以下、「協議会」。）を設立して二地域居住を促進するための計画について協議等を行い、併せて関係者間の合意形成を図る。

●事業内容

- 報償費および旅費（講師謝金・旅費） 62万7千円
- 実装事業委託料 1,737万3千円
 - ①促進支援コンソーシアム運営業務 250万円 ②二地域居住情報発信業務 37万3千円
 - ③二地域居住促進計画策定業務 500万円 ④エアトランスポート調査設計業務 300万円
 - ⑤視察研修・モニターツアー実施 300万円 ⑥促進協議会運営業務 100万円
 - ⑦二地域居住周知啓発業務 250万円

新基本計画実装・農業構造転換支援事業（農林課）3,200万円 **新規**

新共同乾燥調製施設（深江ライスセンター）の機能向上の設備導入。既存の乾燥調整施設について、老朽化による荷受能力の低下と故障による操業停止リスクが非常に高くなっているため、荷受設備等の機能向上により水稻高温耐性品種の効率的な集荷体制を整備し高温耐性品種の作付け推進を図る。また、大麦の効率的な集荷体制を整備し刈り取り適期時の荷受効率を向上することで品質向上を図る。

●事業内容

新基本計画実装・農業構造転換支援事業補助金（共同利用施設の機能向上の設備導入に対する支援）

○補助対象：新共同乾燥調製施設（深江ライスセンター）整備年度：令和7～8年度

○補助対象事業費：6,400万円

○負担割合：県1／2

○市事業費：3,200万円（6,400万円×1／2（県）） ※市負担なし

○施設設備：荷受施設（荷受計量器）

出荷施設（自動計量包装機240袋／h） 出荷施設（自動積付装置240袋／h）

道路改良費〈補助〉（建設課）3,956万6千円 **増額**

幹線道路の整備を行うことにより、交通の安全を確保し、観光産業の振興および地域の活性化を支援する。

●事業内容

補助事業の内示に伴う事業費の調整

- ①道路改良事業（1級市道黒崎線） ②道路防災安全事業（1級市道南本線、2級市道加賀城線）
- ③橋梁補修事業（川口橋、中央橋） ④道路橋定期点検

保健体育総務費（文化スポーツ振興課）合計588万4千円 **増額**

社会体育施設の維持管理に努め、市民のスポーツやレクリエーション活動を推進し、生涯スポーツの振興を図る。

●事業内容

体育施設管理費 421万2千円

○照明設備緊急点検（9施設） ○照明設備撤去（2施設）

芦辺小学校グラウンドナイター設備撤去、天ヶ原グラウンドナイター設備撤去

大谷公園・体育館管理費 138万7千円

○大谷公園 照明設備緊急点検 ○陸上管理棟放送設備 修繕

ふれあい広場管理費 28万5千円

○照明設備緊急点検

議案と審議結果一覧表

開催月	議案番号	議 案 件 名	付託委員会	本会議採決結果	
6月	報告第2号	吉崎市税条例の一部改正に係る専決処分の報告について	—	6/11	報告済
	報告第3号	吉崎市国民健康保険税条例の一部改正に係る専決処分の報告につて	—	6/11	報告済
	報告第4号	令和6年度吉崎市一般会計補正予算(第8号)の専決処分の報告について	—	6/11	報告済
	報告第5号	令和6年度吉崎市一般会計予算の繰越明許費繰越計算書の報告について	—	6/11	報告済
	報告第6号	令和6年度吉崎市水道事業会計予算の繰越計算書の報告について	—	6/11	報告済
	報告第7号	令和6年度吉崎市下水道事業会計予算の繰越計算書の報告について	—	6/11	報告済
	議案第36号	吉崎市長の調査等の対象となる法人を定める条例の一部改正について	産業建設	6/20	可決
	議案第37号	吉崎市子ども・子育て支援法第82条の規定による過料に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	6/20	可決
	議案第38号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画(変更)の策定について	産業建設	6/20	可決
	議案第39号	吉崎市公営住宅等長寿命化計画(見直し)の策定について	産業建設	6/20	可決
	議案第40号	消防ポンプ自動車(3.5t未満)購入契約の締結について	総務文教厚生	6/20	可決
	議案第41号	令和7年度吉崎市一般会計補正予算(第1号)	予算特別	6/20	可決
	同意第6号	吉崎市教育委員会委員の任命について	省略	6/20	同意
	同意第7号	吉崎市監査委員の選任について	省略	6/20	同意
	要望第2号	新型たばこ自販機購入時の助成金の申請および喫煙環境整備について(要望書)	産業建設	6/20	採択
	発議第5号	吉崎市議会委員会条例の一部改正について	省略	6/20	可決

◎6月会議で賛否(賛成、反対)のあった議案

議 案 名 番 号	松本順子	樋口伊久磨	武原由里子	山口欽秀	山内豊	中原正博	山川忠久	植村圭司	清水修	土谷勇二	音嶋正吾	豊坂敏文	中田恭一	市山繁	赤木貴尚	賛成	反対	結果
議案第41号 令和7年度吉崎市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1	可決

小金丸 益明議員は議長のため採決には入りません。

議案第41号 反対討論1件あり。



委員会レポート



総務文教厚生常任委員会

6月会議で付託された2議案については全て可決した。

産業建設常任委員会

6月会議で付託された3議案については全て可決、要望1件については採択とした。

【委員会意見】

要望第2号：たばこ販売店は、たばこ税を通じて市の財政に寄与しており、たばこ耕作は壱岐の農業の1つの柱となっている。本市の小規模たばこ販売店の廃業を防ぎ安定的なたばこ税を確保し、その一部を分煙環境整備へ活用すべきである。

予算特別委員会

6月会議で付託された1議案については原案のとおり可決した。



発議第5号： 壱岐市議会委員会条例の一部改正について

壱岐市行政組織の機構改革に伴い、常任委員会の名称及び所管についての見直しを行う。

「総務文教厚生常任委員会」を「**総務産業常任委員会**」へ
所管課は、総務部、地域振興部、産業推進部、建設部、会計課、
選挙管理委員会、監査委員、農業委員会

「産業建設常任委員会」を「**市民文教常任委員会**」へ
所管課は、市民部、保健環境部、消防本部、教育委員会

令和7年8月7日から施行



一般質問

12人が登壇 市政を問う

市政全般について個々の議員が自由に質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問議員自らが、原稿執筆したものです。

右下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ってダウンロードすると、一般質問の音声を聴くことができます。

※読み取り方法は、スマートフォン等の機種によって異なります。

※ダウンロードすると、通信料が発生します。費用は利用者の負担になります。



中原 正博 議員

質問 勝本港埋立地について

答 埋立ては令和10年度以降に完成予定

中原 多くの市民より、いつ完成し埋立て後は遊覧船の発着所以外に何ができるのかという意見があり、以下を伺う。勝本港埋立地の舗装や埋立地周辺の道路整備はいつ頃着工か。埋立地周辺の市の施設、シーフードセンター等老朽化しているが、改修するのか、また新しく造り替えるのか。勝本浦部の活性化のため、観光客の朝市や商店街、町並み散策等を考えているのか、他に考えがあるのか。城山公園に、城に見立てた資料館や展望デッキ等を作れないか。

産業推進部長 令和8年度から埋立地東側の物揚場の整備に着手。令和9年度に上屋建設、埋立地の舗装、10年度以降に周辺道路整備にかかる予定。勝本浦の活性化のため、地域のにぎわいや所得と雇用を生み出す海業として取り組む。

地域振興部次長 城山公園の勝本城跡に、資料館

や展望デッキ等の建設は現時点では考えていない。今後の海業の展開や河合曾良の墓等の周辺資源との連携、保全にも取り組む。



勝本港埋立地

壱岐市が管理している遊具について

中原 市が管理している遊具はどれくらいあるのか、このうち、使えない遊具はどれくらいあるのか。

建設部長 市が管理する遊具を有している公園は28施設、遊具は合計109基。このうち、使用不可が5月末現在で28基となっている。

中原 使えない遊具が28基もある。修理できるものは早く修理をして、利用がない遊具は早く撤去してほしい。

建設部長 年間少ない予算で修理を行っているが、危険な遊具については、なるべく早めに対応したい。



山川 忠久 議員

質問 新時代創造会議について

答 市民の皆様と共に考える

山川 沓岐新時代事業推進のための資金と人材確保の計画はどうか。

総務部次長 資金は国庫補助金と民間資金活用事業の組み合わせ、ふるさと納税の充実を計画している。今年度中に長期的な視点に立った実施計画を策定する。人材確保では職員の実務研修強化や、国の専門人材派遣制度を活用した外部専門家の登用を進める方針。

山川 事業に伴うリスク管理と対策は。市民の無関心や連携不足、職員の負担増大が懸念されるが。

総務部次長 組織間の連携を促す部門横断組織「沓岐新時代プロジェクトチーム」を設置し、複数事業に所属する格子状の働き方へと変革する。

これにより、各部門が協力しリスクを補い合う。さらに業務の電子化を進め、従来の業務も取捨選択し、効率化と負担軽減を図る。市民との認識共有が不可欠であり、広報紙や交流サイトでの情報公開に加え、地域対話会を積極的に開催。市は市民の「支援者」であるとの役割を丁寧に伝えていく。

山川 議会への情報共有の遅れや広報の現状への見解は。

総務部次長 事業計画は策定段階であり、今後多角的な情報発信を強化する方針である。広報が十分とは考えておらず、一緒に推進課で伝わりやすい内容を検討中。

山川 市長があまり沓岐におられないとの声がある。イメージの払拭を。

市長 島内での活動に、より一層注力していく。

※新時代創造会議の模様を沓岐市ホームページの沓岐なみらい研究所のページよりご覧いただけます。



山口 欽秀 議員

質問 若い職員の早期退職が多いと聞か

答 令和4年度1名、令和5年度3名、令和6年度2名

山口 UIターン者の受け皿として公務員の職場が重要なのに、早期退職が多いのはなぜか。

総務部長 本市が他市と比較して特段早期退職者が多い状況ではない。個人の都合によるもの。

山口 UIターン強化のため、退職者を出さない取組は。

総務部長 若い職員とコミュニケーションを取ることが重要。

山口 職員が自由にものが言えない実態があるのではないか。

総務部長 若手職員と市長とのミーティングで言える場がある。

山口 パワーハラスメント対策は十分か。

総務部長 働きやすい環境とハラスメント防止対策を推進する。

山口 会計年度任用職員は保育士113名、一般職283名、その他149名。長年にわたり非正規職員として働き続けている。正規職員として採用を広

げていく考えは。

総務部長 職員400名の定数計画に沿って採用を目指す。

山口 UIターン者の正規職員の採用を増やし、人口減少を止めることが重要。

高齢者の難聴支援について

山口 高齢者の難聴支援の考えは。

保健環境部長 早めの医療機関受診を促す啓発や相談支援を行う。

山口 補聴器の購入支援を全国で453の自治体が行っている。沓岐市も実施できないか。

保健環境部長 五島市がすでに実施。今後、慎重に検討する。

学校給食費の無償化について

山口 私が行った市民アンケートで子育て支援の第1位は学校給食の無償化。無償化に踏み出すべきだ。

教育次長 財源の理由で無償化は難しい。

山口 市長は段階的に無償化すると公約を掲げているが。

市長 国の課題であり、その中で無償化になっていく。

山口 人口を増やすため積極的に取り組むべき。



武原 由里子 議員

質問 「観光戦略」に基づく、観光事業の在り方について

答 観光商品の充実、旅行商品の造成を図る

武原 岐阜観光新選組等の民間主導の取組を岐阜の資源として活用してはどうか。

地域振興部長 岐阜のファンを作っていただき、一緒に取り組むことが非常に重要。

有人国境離島法における準島民の概念の拡大について

総務部長 学生や移住・定住者、交流事業参加者、介護で帰省する家族等を準島民としている。

武原 墓参りに家族で帰省しにくい。本籍が岐阜市の島外者も準島民にしてはどうか。

総務部長 本籍による準島民は良い案だが、認定が難しいため十分な検討を重ねたい。

武原 市民とのエンゲージメント醸成への市長の決意を伺う。

市長 幸せを実感できるまちづくりは、4月に始まったばかり。市民の主体性を重視し、対話やコ

ミュニケーションを重ねながら進めていく。

「第2次のち支える自殺対策計画」の中間見直しは。

保健環境部長 有識者等を交え、令和7年度中に中間見直しを行う。

高齢者と家族の生活の質の向上のための施策について

武原 自宅介護者へのおむつ補助の検討は。

保健環境部長 月2,500円補助で令和6年度60人、544枚給付。次年度見直し検討予定。

武原 フレイル予防の今後の展開は。

保健環境部長 市民講座を開催。フレイル予防の意識を高め、介護予防教室から公民館等の通いの場作りに取り組む。

岐阜市犯罪被害者等支援条例による犯罪被害者支援制度の実績と制度の周知について

総務部長 令和6年度に傷害見舞金1件10万円を支給。

武原 6月11日ホームページに掲載があるが、相談窓口の掲載も必要ではないか。

総務部長 相談窓口を周知する。



樋口 伊久磨 議員

質問 市営住宅の入居条件の緩和は

答 災害等による住宅の滅失等以外は認めない

樋口 市営住宅の入居の条件で、単身者は60歳以上とあるが、59歳以下も可能にできないか。

建設部長 市営住宅の入居条件は、現に同居または同居しようとする親族があることが原則。若年層の単身の場合、市営住宅の目的外使用の位置付けとなる。災害等による住宅の滅失等以外は認めていない状況。

樋口 年4回の入居募集を6回に増やせないか。

建設部長 今後の応募の状況を注視しながら検討を重ねる。

樋口 中堅所得者向けの特設公共賃貸住宅の家賃の見直しはできないか。

建設部長 月額家賃の改定を行った。今後も検証を行いながら、慎重に家賃の変更について検討していく。

スポーツ合宿について

樋口 石田町筒城に、陸上400mタータンコースを。

地域振興部次長 スポーツ施設の計画的な整備と機能強化は本市にとって重要な課題と認識。しかし、高額な整備費用となることから結論には至らず。旧田河中学校グラウンド跡地の今後の活用方法も地元でいろいろと考えていこう、という話があるため、考えをしっかりと伺いたい。

樋口 勝本ダム球場の施設整備は。

地域振興部次長 内野グラウンドにゴムマットを設置。防球ネットの高さ延長は材料・施行費で4,000万円を超える予算が必要。財源確保を含め、検討する。

樋口 スポーツ合宿誘致のプロモーション動画作成の計画は。

地域振興部次長 他市の事例等を参考に研究する。

樋口 機構改革で文化スポーツ振興課が新設された。「岐阜市の魅力をさらに発信し、観光を次のステージへ。」とあるが具体的には。

地域振興部次長 新しい人の流れを生み出すことをミッションとしている。岐阜市観光戦略に基づき、観光を次のステージへと計画的に進める。



土谷 勇二 議員

質問 要配慮者への、情報伝達・支援体制は

答 地域コミュニティの「共助」が重要

土谷 地域防災における市民と行政の役割について。

総務部長 市民の役割については、地域防災計画の中で基本的義務として、「自らの身の安全は自ら守るのが防災の基本であり、住民はこの観点に立ち、地域ぐるみの住民の自主防災組織を育成強化し、日頃から自主的に災害等に備え、防災訓練や各種防災知識の普及啓発活動をはじめとする市・消防機関等が行う防災活動と連携・協力する必要がある。また、住民は災害に際して警戒・避難活動における隣保互助等により、被害を未然に防止し、あるいは最小限にとどめるため、相互に協力するとともに、市が実施する防災業務について自発的に協力し住民全体の生命、身体及び財産

の安全の保障に努めなければならない。」これは防災の基本理念、自助・共助・公助のうちの自助と公助に当たると考えている。



まちづくり協議会の今後の在り方について

地域振興部長 各種団体を含めた地域が一体となり、地域に必要なことを地域で決定し、実行する組織としてまちづくり協議会が主体となって、地域の自主的活動を推進し、市との協働により、地域の課題解決に取り組んでいただいている。まちづくり協議会の組織や自治公民館、各種団体等の担い手不足や後継者不足というのが非常に大きな問題となっている。成り手不足の解消・課題についての話し合い等にアドバイザー制度を活用していただきたい。



植村 圭司 議員

質問 公共施設譲渡を円滑に

答 まずは意向を把握し、地域と合意形成を図る

植村 令和6年度までに譲渡済み施設があるはずだが、手続きが進んでいない。改善策は。

総務部長 指摘の通り。譲渡方針の公共施設は28施設あり、そのうち、1施設のみ払い下げた。まずは、地域等にアンケート調査し、意向を把握、合意形成をしたい。老朽化施設が多く、譲渡後の維持管理費用が大きいことが課題。従って、譲渡時に生じる解体費用や改修費用の一部支援制度を検討する。

吉岐新時代創造とは何か

植村 3月から周知や会議が進んでいるが、内容、費用、工程、課題は。

市長 郷ノ浦、勝本、芦辺、石田の特徴を生かし

た、先導的に取り組む地域活性化策。国の交付金等を用い、なるべく吉岐市の財源負担を抑えたい。早ければ、令和8年に設計。今年是对話会等で市民の意見を聴きたい。

植村 市民の話をよく聴いてほしい。共感を得る工夫が必要。成功事例を吉岐全体へ波及させてほしい。

郷ノ浦駐車場を再び活用できないか

植村 老朽化で閉鎖中なのは理解できるが、閉鎖理由とした基準は国土交通省の国道橋の維持点検要領によるもの。駐車場は橋と違い、重たく大きな車が高速で走ることはない。台数、車種等の条件を設けることで駐車場の利用ができるのではないかな。

総務部長 安全性の確保が困難。

植村 技術的なことは、国土交通省の国土技術政策総合研究所に相談を受ける窓口がある。是非、相談を。

総務部長 早速、相談する。



赤木 貴尚 議員

質問 有人国境離島法の延長は絶対必要！ 苓岐市の考えは

答 法律の延長に向けて最大限の努力をする

赤木 2027年3月31日で期限を迎える有人国境離島法（有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別措置法）の延長について苓岐市の考えを。

地域振興部長 この法律は、苓岐市の地域社会維持に極めて重要な法律。過去5年で22億の交付金を活用。延長は苓岐市地域の存続に不可欠であると強く認識。延長に向けて、最大級の努力を重ねる。

「つながりのみなとプロジェクト」をどのように進めるのか。

総務部次長 現状は構想、地域の皆様と対話を重ね、具体的な実施計画を策定する。令和7年度は、拠点施設整備のスケジュールを検討。令和8年度、

拠点施設の設計、整備準備。令和9年度、国庫補助金等の活用による拠点整備に着手。令和10年度末から11年度の完成を目指す。

5歳児健診の義務化について

市民部長 5歳児健診の意義は十分理解している。実施体制の構築に向けてこれまで同様、医師会等の関係機関との協議を継続していく。



盈科小学校の建て替えについて

教育次長 盈科小学校は築66年経過。人口動態や地域の教育ニーズを総合的に分析する必要がある。当面は急を要する修繕等、計画的な改修工事を継続し、施設の安全性を確保する。

赤木 小中一貫校の検討やプール施設の集約化で『苓岐市民プール』を建設し、経費削減を目指すべき。



山内 豊 議員

質問 市内公園の環境整備は

答 立地適正化計画の策定から進める

山内 公園は7つの課で54箇所となっている。一元化する予定は。

総務部長 内部で調整中ではあるが、令和8年度から建設課で所管する方向で調整中。

山内 使用できない28基の遊具の更新は。

建設部長 利用する側の安全確保のため、まずは危険な遊具の撤去から進める。

山内 市内8箇所くらいに統合してはどうか。

建設部長 今のところ計画はないが、将来的には施設の再編・集約化について検討していく。



筒城ふれあい広場にある使用不可の複合系遊具

苓岐市内において米価高騰となった原因は

産業推進部長 市内に限らず、全国的に生産コストの上昇や需要と供給のバランスが崩れたことが原因であると考える。

山内 生産者と消費者が納得する価格（適正価格）の実現に対しての取組は。

産業推進部長 国の動向を注視しながら様々な補助事業を取り入れ、農業者の生産意欲並びに所得向上に向けて取組を推進する。

中学校部活の地域展開について

山内 地域展開に係る費用とその内訳は。

教育次長 現時点では、遠征費用や大会参加費等の補助金、指導者報酬を想定している。

山内 保護者負担の割合は。

教育次長 道具代を含めて保護者の費用負担は生じる見込みだが、その割合については現在、情報収集と研究を行っている。

山内 先生方の働き方改革も含め、まずやるべきことは。

教育次長 競技団体の研修等を経て、指導者人材バンク、人材リストに登録をしていくことから始めたい。



清水 修 議員

質問 地域での人づくりの機会や場づくりの改善策は

答 社会教育課での生涯学習の充実とアドバイザー制度の活用

清水 コロナ禍で分断された地域でのつながりを取り戻すため、自治公民館活動と社会教育の人づくりについて尋ねる。①自治公民館の合併についてモデル事業はできないか。②まちづくり協議会との共催は。③機会や場づくりの改善策は。

地域振興部長 ①合併については、まちづくり協議会での対話を通して方向性や解決策を見出すことができるよう支援する。②共催は可能であり、両者の役割を補完できる体制を整え、よりよい連携を図る。③改善策は、機構改革により、社会教育課での生涯学習の充実を図ることができる体制になったため、今後の公民館活動での人づくりの機会や場づくりの改善を図る。

清水 地域住民にとっては、自治公民館と公民館の区別がつきにくいいため、自治会と公民館を区別

しての活動ができる組織づくりを願う。

文化スポーツ振興の取組は

清水 これからの文化スポーツイベントは、より多くの市民との関わりが大事な視点。①ピース文化祭の俳句イベントでの市民の関わりは。②ウルトラマラソンへの参加者の声を取り入れた改善策は。

地域振興部次長 ①1つ目は、俳句でつながる新たな交流プロジェクトとして、多くの句碑や歌碑の説明看板やホームページを整備しマップを作成し、新たな観光誘客へつなぐ。また、小・中学校と各港に投句箱を設置し、優秀作品は島内に展示するなど再来島してもらえる仕組みづくりを予定。2つ目は、ピース公民館教室として舞踊、和太鼓、鬼凧づくり、壱岐産料理等の実施。夏休みには3世代で楽しめる俳句・短歌・川柳教室を計画。②参加者の声から改善は4つ。給水所での紙コップをやめ、マイカップを持参。あと10kmから500m毎にのぼり旗を立てての応援。ベストエイドステーションを選ぶ企画やこれまで以上の応援と見送り。



音嶋 正吾 議員

質問 壱岐市の持続可能な社会について

答 6次産業化を進め、所得を増やす方向で進めていく

音嶋 農業・漁業・観光問題の取組実績と今後の展望について。

産業推進部長 農業分野は、水稻及び肉用牛を主体に、施設園芸、葉たばこ、露地野菜及び花卉類の産地化に取り組んでいる。漁業分野においては、漁業者、漁協、関係機関と密接に連携しながら、磯焼け対策や種苗放流、漁業者や集落活動に対する補助、支援など様々な事業を実施。今後は6次産業化を進め、持続可能な産業育成に取り組む。

地域振興部長 国の有利な補助金を活用し、体験プログラムの造成や魅力的な旅行商品企画・販売、誘致事業、首都圏向け情報発信事業など様々な事業を実施。今後の展望として、観光に特化した個別戦略である「壱岐市観光戦略2025～2027」を策定、公表。

高齢者及び障がい者福祉について

音嶋 本市では、高齢化率が非常に高い。若年人口は離村向都化傾向が顕著である。介護従事者の確保と待遇改善対策について見解をたずぬ。

保健環境部長 本市の最重要施策の一つに位置付け、介護人材の確保と待遇改善に積極的に取り組む。

壱岐市に残り、本市を興す気概のある若年世代の定住支援対策について

音嶋 農業問題、漁業問題について。また、若者が壱岐に残り、生計を立てることが可能な環境整備を創出しようという考えはあるか。

産業推進部長 農業問題については、壱岐市担い手サポートを中心に支援を継続し、国・県の事業を取り入れ、支援強化する。漁業問題については、水産資源の回復に努めつつ、魅力的な漁業環境の確保に努める。第4次壱岐市総合計画の基本目標1にのっとり、希望の仕事があり、稼ぐ力のある島を目指す。

地域振興部長 若者にとって魅力ある労働環境の整備を図る等の支援を通じて若者が壱岐に残り、生計を立てられる環境を創出する。



松本 順子 議員

質問 外国人に壱岐の不動産を買われることに危機感はあるか？

答 国・県の動向に注視し、対応する

松本 市はどう考えているのか。

市長 市民を守ることが最優先。有人国境離島である本市の地理的特性を踏まえ、国家安全保障上、注視すべき課題であり、土地取得に関する情報収集に努める。

松本 出合いの村を活用したいという事業者と既に契約をしているのでは。この話は住民の反対で本当になし。

地域振興部長 事業者からの相談に対する基礎資料として住民の意見を聴いた。契約を交わす状況ではない。

壱岐市政政治倫理委員会になぜ外国人？

松本 外国人は原則認められないはず。車会長をなぜ選んだのか。

総務部長 今まで長崎県立大学からの教授級推薦で務めていただいていた。国籍は問わない。

松本 政治として区別すべき。

イルカの夏の体調管理は？

松本 4頭の体調は。獣医師は来たか。今後の対策は。
地域振興部長 4頭とも元気。獣医師は島外移住者で6月から雇用。バンドウイルカは比較的暑さに強いので、夏の対策は必要ない。他対策は効果が認められるものから行う。

野犬対策について

松本 犬取締条例が平成16年のまま。違反者に罰則付きで改正してはどうか。

保健環境部長 社会情勢や動物愛護、野犬対策の実情に合わせての改正は重要だが、動物の愛護及び管理に関する法律第25条において指導が可能。

松本 避妊去勢手術補助金の復活や島内空き家の調査、野犬のシェルターが必要ではないか。

保健環境部長 補助金の復活はない。空き家は過去の履歴と通報を基に把握する。シェルターについては市では困難。

雇用機会拡充補助事業について

松本 今まで壱岐の事業者は何件採択されたか。地域トラブルへの対応は。廃業者からの補助金の回収は。
産業推進部長 島内事業者92件、島外28件。トラブルへの対応は年3回の経営状況調査時に確認し、検討する。現在のところ補助金回収となった事業者はない。



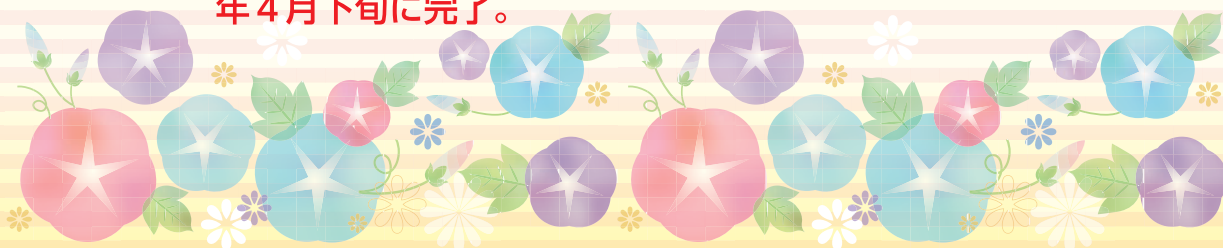
あんな質問な
どそ〜んなった？

令和7年2月会議から

質問：壱岐空港ターミナルビルのトイレの洋式化について

壱岐空港ターミナルビル内トイレの全洋式化も早急に実現を

その後：手荷物検査後の待合室側、男性トイレ及び女性トイレの洋式化工事は、壱岐空港ターミナルビル(株)と協議を行い、令和7年4月下旬に完了。



市民の声

「議会だより第85号」
クイズ応募者よりいただいた
ご意見ご感想です。

4月に起きた医療搬送
用ヘリコプター事故は、
我々離島民にとってショッ
クなニュースだった。杵岐
でも利用されているだけ
でも医療搬送用ヘリの早急
に医療搬送を望みます。杵岐
市においても早急に取り
組む課題として対策を講
じてほしいです。(66歳)

「議会だより」を楽しみにしていま
す。少子化で保育園が閉所される事
がさびしく思います。又、杵岐高校の
野球部の活躍には嬉しくて涙しまし
た。何事も島一体となれば必ず実を
結ぶ事を学びました。(86歳)

観光場所もう少しき
れいにできたらなあと思
います。(68歳)

杵岐高校の甲子園出場の熱気は、本
当にすばらしかったです。久し振りに杵岐
が1つになりました。「今日1日をしっかり生
きていきたい」と思っています。(80歳)

夏の清石浜

議会広報特別委員会よりお知らせ！

杵岐市議会だよりの発行日が変わります。

定例会（3月、6月、9月、12月）翌月の最終木曜日から、**翌々月の
第2木曜日**へ。

クイズの応募締め切りは、発行日より一か月です。

※最終ページに記載していますので、ご確認をお願いいたします。

議会広報特別委員会委員一同、皆様からのお声や
クイズの応募をお待ちしております。

クイズに答えて図書カード(1,000円)が当たります。
皆様のご応募待ってま〜す!!

議会だよりクイズ

この議会だよりの中に
答えがありますので、
最初から最後まで良く
読んでみてください。



議会広報特別委員会委員

Q1 壱岐市が管理している公営住宅等は全部で〇〇〇棟ある

Q2 6月定例会の1,800万円で新規予算ついたのは〇〇〇〇〇先導的プロジェクト実装事業

Q3 6月定例会で一般質問を行ったのは〇人

第85回クイズの答え

- ① 産業推進
- ② 16
- ③ オープンダイアログ

第85回クイズの当選者

小畑 恵美 様
西 圭介 様
大村 平白 様
熊本 和美 様
酒井 泰代 様

おめでとうございます!

《応募方法》 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。

議会だよりを読んだご感想や、市政へのご意見・ご要望などお書き添えください。

ご意見などは、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。

正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円分をお贈りします。(当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》 〒811-5521

壱岐市勝本町西戸触182-5 壱岐市議会事務局宛

《しめきり》 令和7年9月14日(当日消印有効)

《個人情報の取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表及び『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。

編集後記

残暑の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。今年の夏も猛暑が続いておりますので、熱中症にはご注意ください。

時の流れも早く、1926年に年号が昭和に改元され、今年100周年の記念すべき節目の年に、壱岐高校野球部が「21世紀枠」で、第97回選抜高校野球大会へ初出場を果たし、その堂々とした勇姿は全国に名声を轟かせ、壱岐市民へ勇気と感動と誇りを与えてくれました。

また、篠原市長の就任後、初めての当初予算が計上されました。第4次壱岐市総合計画の二緒に前へ、壱岐新時代へを合言葉に、急激な人口減少に対応すべく2050年人口2万人を維持するため基本戦略が作成されました。本計画の実現に向け、行政、市民、関係機関が一諸になつて取り組み、幸せを実感できる未来の実現に向けて頑張りましょう。

今号が発行される頃には、市議会議員選挙で議員も変わり、広報特別委員会のメンバーも変わっております。次号からの議会だよりも市民の皆さまと議会が市政についてより意見交換できる紙面となることを期待しております。2年間ありがとうございました。

市山 繁



議会広報特別委員会
委員長 樋口伊久磨
副委員長 清水 順子
委員 松本 順子
山内 忠久
土谷 勇二
中田 恭一
市山 繁

お知らせ

壱岐市ホームページ

<https://www.city.iki.nagasaki.jp> の市議会のインデックス(見出し)を検索すると、市長行政報告及び議員の一般質問の音声を生で聴くことができます。また市議会会議録は、議会事務局・市役所郷ノ浦庁舎(総務課)・各庁舎(市民生活班)・各図書館で閲覧できます。ご利用ください。



公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・見舞い等の金品を送ることや、暑中見舞い・年賀状などの挨拶状や有料の広告は禁止されております。

市民みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

壱岐市議会議員一同

発行責任者 議長 小金丸益明
編集 議会広報特別委員会

〒811-5521

長崎県壱岐市勝本町西戸触182-5

TEL : 0920-42-1114

FAX : 0920-42-0096

【E-mail】 iki-gikai@city.iki.lg.jp

【URL】 <https://www.city.iki.nagasaki.jp/>

